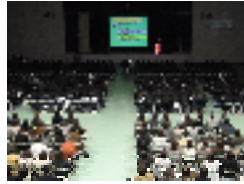




海南校舎 MONTHLY TIMES

11月号 平成22年11月24日発行

海南高校の 海高生による 説明会 中学生のための



学校開放月間の11月6日(土)、オープンキャンパス2010を開催しました。県下各地から中学生414名、保護者および中学校関係教員94名の合計537名の参加がありました。この企画は、できるだけ海高生の姿を見てもらおうと、生徒が進行役を行い、在校生や卒業生へのインタビューや校内クルージング、また受付等まで大活躍をしてくれました。彼らの頑張りのおかげで、後輩達に海南高校をよく知ってもらうことができ、参加者からもすこぶる良い評価を受けました。

こちらは海高生のための生徒大会

11月9日(火)、生徒大会が行われました。前期の生徒総会に続き、後期はより深い議論をしようとして代議員制を取りました。各クラスから要望や提案があり、生徒達で意見を交わしたり、教師が学校の思いを伝えたり、なかなかおもしろい2時間でした。主な内容は、海高祭、制服、図書館関係、修学旅行等でした。



11月9日 かたつむり作業所訪問 (1年生) 16日 人権講演会



1年生の人権学習として、今回は障害者問題について学びました。まず、9日にクラス代表10名が海南市重根にある「かたつむり作業所」を訪問し、パン作りの様子を見学し、説明を受けました。次の週の16日には報告会を1年生全体で行い、それを受けて作業所代表の山添氏より講演をしていただきました。



SSH 特設課外授業 (1年生)

1年生の教養理学科40名が11月17日～19日に岐阜県へ研修旅行に出かけました。京都大学飛騨天文台、東京大学神岡宇宙素粒子研究施設(スーパーカミオカンデ等)、京都大学地震予知研究センター等々…の、最先端技術が集結した施設で勉強をさせてもらえる、すこぶる贅沢な研修旅行でした。飛騨の山々はすでに雪化粧が始まっていましたが、熱い1Aの面々は知的な好奇心が高まり、(良い意味で)パワーアップして帰ってきました。詳細はSSH マンスリーにてお知らせします。



SSHも科学部も 大活躍

11月21日(日)に海南市わんぱく公園にて、本校科学部の地元の海南の自然をテーマにした「海南市内のツメレンゲ分布調査」(市川くん、薮川くん)、「わんぱく公園のトンボ相について」(中谷くん、橋爪くん)、「小野田大池のカワウコロニー繁殖個体数調査について」(蘇くん)の研究発表が行われました。地元を見つめるすばらしい研究で、これからもぜひ後輩に引き継いでもらいたいものです。

また、12月17日には県民文化会館でSSH活動の合同発表会が行われる予定です。ぜひ、活動の様子を見てやって下さい。

可憐な秋の贈り物



毎年、本校近くの上西様が、精魂込めて育てた菊の花の鉢を玄関前に届けてくださいます。桜とともに日本の国花の菊。今年は上品な桃色と黄色の2種類の懸崖(けんがい)作りの菊が届き、生徒や職員の日を楽しませてくれています。

三者懇談会 ご予約下さい

(12月20日・21日・22日・24日) (予定)

各学年とも話題は学校や自宅での過ごし方はもちろんですが、1年生はコース選択と進路希望、2年生は受験生の学期の過ごし方、3年生は最後の最後まであきらめない追い込みについてのお話しが中心になるかと思えます。何かとご多忙とは思いますが、ご予約下さい。

12月の予定

- ~3日 後期中間考査
- 7日 人権講演会
- 9日 SSH 特別課外講義 (2年)
- 13日 台湾国立基隆高校生来校
- 13日 3年特別時間割授業開始 (~1/12)
- 14日 防災訓練
- 17日 食育講演会 (3年)
- 17日 SSH 合同発表会 (和歌山市民会館)
- 20日 三者懇談 (~24日)
- 24日 冬季休業前アゼンブリー